

# 令和2年度 東京都立足立新田高等学校学校経営報告

校長 長江 誠

## I 目指す学校像に関する今年度の取り組みについて

『生徒が夢に 挑戦し 努力し 生涯を見通し 逞しく生きる力を培える 学校』づくりを目指し、「生徒の多様な能力に 多様な教育活動で 多様な進路実現を」掲げ、知・徳・体のバランスの取れた生徒の育成に取り組み。地域に根ざし、社会に貢献できる人材を育成する学校を目指した。

### (1) 学ぶことの喜びを感得し、学ぶ意欲を持ち続ける若者を育てる学校

①コロナ禍において、自宅学習期間も生徒が自ら学ぶ意欲をもたせるように、若手教員を中心に動画授業の導入に取り組んだ。今後、これを学校全体で取り組むようにしていく。

### (2) 生徒一人ひとりの進路実現に向けて教職員が一致して取り組める学校

①総合的な探究の時間を活用して3年間を見通したキャリア教育の充実を図った。また、3年生の進路実現を図るために個に応じた進路指導を充実させ、進路実現率97.8%を達成した。

### (3) 家庭や地域と連携し生徒の学校生活を支援し、生徒、保護者、都民に信頼され、選ばれる学校

①新型コロナウイルス感染症対策を行い、生徒の安全な学校生活を保障した。また保護者や地域との連絡や連携を図り信頼される学校を目指し、前期入選1.19倍と後期入選の1.43倍の応募倍率となった。

### (4) 全日制普通科としての特色や地域の特性を活かし、様々な困難を克服し、チャレンジ精神を養う学校

①新型コロナウイルス感染症対策で様々な制限がある中、学年別スポーツ大会や学年別球技大会を開催し、生徒に仲間と共にチャレンジする場面を設け、生徒がいきいきと活動した。

### (5) 生涯を見据え、逞しく生きて行く能力を身に付けることの出来る学校

①コロナ禍において、自らの安全や周囲の安全、家族の安全のために自ら取るべき行動について考えさせ、それを実践するように繰り返し指導をした。

## II 中期的目標と方策についての今年度の取り組みについて

「生徒の多様な能力に 多様な教育活動で 多様な進路を実現する」ための取り組みを行った。

### (1) 多様な能力を持つ生徒の入学：様々な個性・能力を持つ生徒が入学し、個々の特性を伸ばす魅力ある学校をつくる。

①ここ数年の文化・スポーツ等特別推薦で入学してきた生徒の動向や成果を検証した結果、文化・スポーツ等特別推薦の吹奏楽部の募集をなくし、相撲部の男子のみ4名の募集を男女4名の募集へと改善を行った。

### (2) 多様な教育活動の展開：3つの学系（「スポーツ健康」・「福祉保育」・「メディア文化」）選択、進学対応の選択科目と共に大学進学を見据えた選択科目、特色ある教育課程のもとに、生徒の希望や適性、能力を活かした魅力ある授業を実施する。

①ICT機器を活用した授業や動画授業の推奨を行い、若手教員を中心に生徒に興味関心をもたせる教材の工夫の実践を行った。習熟度別授業、TTや少人数等きめ細かな指導を工夫し、個に応じた指導の充実を図った。

②3つの学系科目群の特色を活かし、基礎学力の向上や専門的知識の獲得を図るとともに、各種資格取得や技術の習得を目指した。

③コロナ禍で様々な制約を受けながらも、感染防止策を講じながら、部活動や学校行事の実施

方法を工夫することにより、生徒が目標に向かって、挑戦し、継続的に努力する精神力と共に帰属意識や愛校心を育て、本校生徒としての自信と誇りを培うことができるように指導した。

(3) 多様な進路の実現：難易度の高い大学への進学及び資格取得やスキルアップを目的とした専門学校等への進学、生徒の希望や能力・適性を踏まえた就職指導の充実を図る。

○各学年と進路指導部が連携して、総合的な探究の時間にキャリア教育の視点から、自ら課題を設定して、調べ、計画を立てさせ、実践、修正をしながら進路実現を図る学びのスタイルを確立できるように整備を始めた。

### Ⅲ 今年度の取組目標と方策についての取り組みと自己評価

(1) 基礎学力の定着と応用力の向上を図るとともに、キャリア教育を推進し、個々の生徒の進路実現を図る。

①学力向上に向けた多様な生徒への組織的な取り組みと基礎学力の定着・応用力の向上として、1学年の数学Ⅰ、国語総合(古典)、及び2学年の数学Ⅱ、古典、コミュニケーション英語Ⅱ、3学年のコミュニケーション英語Ⅲで2クラス3展開の習熟度別授業を実施した。また、1学年から1クラス編成した特別進学クラスにおいては、英語、数学、国語の主要教科で、1クラス2展開の習熟度別授業を実施した。

②学系列の多くの授業で少人数指導を実施し、基礎学力の定着や応用力の向上を図った。

③緊急事態宣言期間中の自宅学習期間や分散登校期間に基礎学力の定着を図るため、自宅学習課題を評価することを生徒に伝えて学習課題内容の工夫をした。また、家族で一緒に取り組むことができるホームページ課題や動画授業の配信を行った。

④学習活動に課題のある生徒に対しては、教科、部活動顧問、担任が連携し、単位認定に向け放課後や定期試験前、学期末等に補講等で基礎学力の定着と向上を図った。また、部活動単位での勉強会も実施して成績を上げた生徒もいた。

⑤英語の授業においては、JET、ALTを積極的に活用するとともに、アクティブ・ラーニングを取り入れ、英語への親近感を育成し効果を上げた。その結果、英検準2級に3名が合格した。

⑥全学年が年間を通して朝学習を継続実施し、授業に向かう態勢を整えさせるとともに、基礎的な学力の定着、読書習慣の定着を図った。国語、数学、英語の各教科については、それぞれ漢字、計算力、英単語のテストを年3回実施し成績優秀者を表彰した。

⑦予備校主催の教員セミナーに5教科5名の教員を派遣して、各教科の授業力向上を図った。

⑧3つの学系科目群の特色を活かし、基礎学力の向上や専門的知識の獲得を図るとともに、各種資格取得や技術の習得を目指した。

⑨キャリア教育を組織的・計画的に行い、進路決定率の向上を図るとともに将来を見据えて逞しく生きていく力を育成した。具体的には、各学年と進路指導部が連携して、総合的な探究の時間にキャリア教育を組織的・計画的な実践を行った。また、3学年については、進路を確定しその実現を図るため、総合的な学習の時間の授業をクラス別から進路別に編成して授業を行った。就職希望者には早期からハローワーク等と連携した進路指導等を実施し、生徒の勤労観・職業観を啓発する取組を積極的に進めるとともに、長期休業中及び学期中の放課後に教員だけでなく外部講師やハローワーク職員の協力も得て面接指導を繰り返し行った。大学・短大への進学は、ほとんどが指定校推薦や総合型選抜によるものであるが、特別進学クラスの中から一般受験で進路実現を果たす生徒もいた。

⑩令和4年度からの新教育課程の検討を重ねた。グランドデザインを活用し、各教科会におい

て生徒に身に付けさせる力を明らかにした上で、教育課程検討委員会で必履修教科と科目の新しい教育課程表を完成させた。

- ①探究活動を充実させるため、総合的な探究の時間に、自ら課題を設定して、調べ、計画を立てさせ、実践、修正をしながら進路実現を図る学びのスタイルを確立できるように指導を始めた。次年度以降、キャリア・パスポートを活用し、生徒自身が学びや活動を記録し蓄積することで、振り返りと自己評価を計画的に実施できるようにしていく。

(2) 生活指導や健康指導を充実させ、生徒の健全育成を推進する。

- ①「授業を大切に」をスローガンに授業開始・終了時間の徹底を図り、授業規律の維持に努めた。拡大学年會を年間2回実施し、情報を共有して生徒の指導にあたるとともに、家庭との連絡を密にして課題のある生徒に対して、迅速な個に応じた対応に努めた。
- ②文化・スポーツ等特別推薦入学者対象の成績會議を年3回設定し、全員が進級、卒業を果たした。講師を含め、教員の入れ替わりがあるので、文化・スポーツ等特別推薦入学者対象生徒について、顧問、担任、教科担当者が連携して個別指導を丁寧に行うことを各学期当初にも全教員で確認できるようにする必要がある。
- ③学校生活への適応に課題をもつ生徒については、養護教諭、スクールカウンセラー、関係教員で特別支援に関する連絡會を随時開いて状況の把握を図り対応を検討した。その結果、教職員、家庭及び専門医や関係機関等との連携を図ることができ、不登校等への対応や未然防止に成果を上げた。さらに、精神科の専門医を年間3回招き、全体研修會、個別相談を通じて教職員の課題への理解を深めるとともに、専門医療機関や相談機関への連携へ繋げることができた。
- ④朝の登校指導で遅刻防止指導や自転車の乗車指導（傘差し運転禁止・雨合羽着用指導、ヘッドフォン着用運転禁止指導）、駐輪指導等に生徒指導・保健部や学年担任を中心に全教員で取り組んだ。また、各授業やHR指導でも「あ（挨拶をする）じ（時間を守る）み（身だしなみを整える）そ（掃除をする）運動」を展開して学校全体で一貫性のある指導に努めた。その結果、落ち着いた環境で教育活動を展開することができ、校内に生徒のあいさつの声が溢れ、来校者からもお褒めの言葉をいただいている。
- ⑤生徒指導・保健部や養護教諭を中心に保健便りを活用した保健指導を行うとともに、家庭科、保健体育科の教科指導等においても、生徒の日常の健康指導に取り組んだ。
- ⑥校内美化については、日々の清掃活動に生徒と教職員が一緒に取り組み、また、美化委員會を活性化して学校行事や年3回の地域クリーン活動等での美化活動を通して生徒の意識を高めるよう努めた。地域から高い評価を受けている。
- ⑦新型コロナウイルス感染症の感染防止のために、全教職員で毎朝の検温、マスクの着用、こまめな手洗い・うがいの励行指導、対面飲食の禁止指導等の徹底について組織的・継続的な指導を実施した。また、PCR検査受診時の保護者からの連絡を徹底させ、東京都教育委員會と保健所と連携して、迅速に対応できる体制を構築して、学校内での感染拡大やクラスターの発生を未然に防止できた。

(3) 部活動や学校行事の活性化を通して帰属意識を高め、愛校心を育てる。

- ①緊急事態宣言の発出等により、部活動や学校行事に様々な制限や制約がある中、各部活動とも主顧問を中心に顧問間で連携して、感染防止策を講じながら部活動の活性化を図ったり、学年別スポーツ大会や学年別球技大会、文化部発表會等の行事の工夫をしたりしたことにより、生徒のいきいきとした活動をたくさん引き出すことができた。
- ②新田2020プロジェクトとして、オリンピック・パラリンピック教育支援事業を活用して

「日本の伝統楽器 伝承と革新～学校公演～」を開催した。オリンピック・パラリンピック教育の中で、「日本文化」「和の心」「日本の伝統」等について学習場面を設けたいと考えていたので、今回のプログラムを鑑賞、体験することで「日本の伝統文化」に触れ、日本の良さを再認識させる機会となった。また、ホームページ及び「学校便り」等を通してオリンピック・パラリンピック教育の発信に努めた。

③体罰、行き過ぎた指導、不適切な発言を起こさないように、年間3回の校内研修会と年間2回の自己点検と校長面接を実施した。

(4) 図書館の利用を促進し、読書活動を推進する。

①昨年度に引き続き読書活動推進委員会を中心に読書活動を推進した。読書週間を年間2回設け、図書館だよりや新刊案内等を工夫して読書への関心を高めるとともに、各教科や総合的な学習の時間、総合的な探究の時間、小論文指導など進路指導での図書館利用の促進を図った。

2 広報活動・学校評価・保護者や地域との連携・制服改定

(1) 広報活動の充実を図る。

①学校案内のほかに、部活動の大会実績や学校行事などの内容を掲載した「学校便り」を中学生や地域の方々に配布し、本校及び本校の教育活動の理解に役立てた。

②通年の学校見学と夏季休業中の集中的な学校見学会のほか、中学生及びその保護者対象の学校説明会を2回、個別相談会を2回、イブニング相談会を4回実施した。体験入学は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、東京都教育委員会より開催しないよう通知があり、開催を見送った。

③ホームページを見やすく、分かりやすいように改善を進めた。更新も昨年度と同様に行い、分かり易く、学校行事や部活動等の実績、入学者選抜の状況等をリアルタイムで発信するよう努め、93回の更新をした。

④塾対象の学校説明会を2回開催するとともに、全教員で組織的に塾訪問を実施した。

(2) 授業評価・学校評価の実施について工夫・改善を図る。

①生徒による授業評価を1回実施し、その結果を各教科で検討・分析を行い、生徒理解や授業改善に活用した。授業公開における保護者や来校者による参観・見学アンケートを参考にし、授業改善に役立てた。学校評価アンケートは生徒、保護者、教職員、中学校、地域を対象に2学期末に実施した。その評価結果は生徒による授業評価結果とともに学校運営連絡協議会に提出、協議し、協議委員からの忌憚のない意見や要望を学校改善に活用した。

(3) 保護者・地域との連携・協力による学校支援体制の確立を図る。

①学校が核となり、家庭及び地域等と協力して生徒の学習環境をつくり、生徒の健全な育成に努めた。保護者との連携については、コロナ禍のため、体育祭、文化祭、宿泊防災などの学校行事への参加、支援活動を通じての学校への理解の深化と支援体制の強化ということができなかった。しかし、4月・5月の緊急事態宣言に伴う休校期間中に週2回の担任による家庭電話連絡を実施した。このことにより担任と保護者とのコミュニケーションが深まり、逆に1年間を通じた担任と保護者との連携・協力体制の構築につながった。

②教科「人間と社会」の取り組みの一環として、新田町会と足立区地域調整課美化推進担当の協力を得て地域クリーン活動を2学期と3学期に実施して、地域社会に貢献するとともに奉仕の心を育成した。

③新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から例年開催している相撲部の新田相撲教室を始め、チアリーディング部の老人ホームの夏祭り、足立区鹿浜いきいき館フェスタへの訪問等の地域貢献活動は中止とした。

④学系の保育の授業では、「保育実践」や「児童文学」の授業で、感染防止策を講じながら、保育園での絵本の読み聞かせをしたりして特色ある教育活動の具現化を図った。今後も更に、感染防止策を講じながら、近隣の学校や保育園等と連携した取り組みを検討し実施していく。

(4) 制服を変更したことに伴う説明や指導を丁寧に行う。

①今年度入学生からデザインや機能を改善した制服にしたことに伴う説明やセーター等の着用指導を丁寧に行ったことで、移行期のトラブルは全くなかった。

### 3 学校における働き方改革推進プランによるライフ・ワーク・バランスの推進

(1) 各分掌の校務のネットワークフォルダを活用した業務の効率化に取り組んでいる。更に、無理、無駄の分掌業務を洗い出し、組織的に業務の効率化を継続していき、教職員一人ひとりのライフ・ワーク・バランスの実現を図った。

(2) コロナ禍による部活動の制限の影響もあり、ほとんどの教員が定時退勤をするようになった。また、在校超過勤務時間の上限を超えた教員3名に対して、産業医による面接指導を実施した。

(3) 業務の効率化を図り、週に1日以上定時退勤を呼びかけた。どうしても、長時間労働が状態化している教職員がいたり、分掌によっては季節労働的に定時退勤ができない部署が生じたりがあったが、学校全体的には、週に1日程度は定時退勤を心掛ける雰囲気はできた。ライフ・ワーク・バランス推進の観点からも、この取組を継続していく。

(4) 学校閉庁日を年間4日間設定し、教職員が一斉に休養できるようにした。また、長期休業中の土日や学校閉庁日には、電話を自動応答メッセージとしたことで電話応対による業務の削減をした。

### 4 重点項目と数値目標

(1) 進路実現に向けた取り組み

① 進路決定率 97%以上⇒実績 97.8%

② 早慶・SMRAT+CH以上を3名以上⇒実績1名 公務員合格3名以上⇒実績2名

③ 年間皆勤者数 1学年60人以上⇒実績111名 2学年60人以上⇒実績63名  
3学年50人以上⇒実績70名 合計244人

④ 進路講演会 年5回以上⇒実績7回

⑤ 資格取得者数

漢検 15人以上⇒実績7名 英検 15人以上⇒実績3名 IT関係 20人以上⇒実績48名  
保育技術関係 150人以上⇒実績104名 食物調理技術検定 15名以上⇒実績18名

⑥ 読書週間年2回以上⇒実績2回

⑦ 図書貸し出し年間平均冊数1人平均2冊以上⇒実績0.76冊

⑧ 生徒の満足度 80%以上⇒実績85%

(2) 部活動に関する取組

① 部活動加入率 85%以上⇒実績76%

② 上位大会進出 全国大会や関東大会の中止に伴い、今年度は数値目標を設定しない

#### 【主な部活動戦績】

○アーチェリー部「全日本ターゲットアーチェリー選手権大会第3位」「東京都高等学校体育連盟優秀校」「東京都高等学校体育連盟優秀選手」

○相撲部「全国大会18年連続出場更新」「全国高等学校相撲新人選手権大会団体ベスト32」「全国高等学校相撲新人選手権大会個人無差別級ベスト32」

○陸上競技部「東京陸上競技選手権大会 高校男子三段跳び第2位」  
「東京陸上競技選手権大会 高校男子110Mハードル第7位」

○男子バレーボール部「全日本高等学校バレーボール選手権東京都1次予選ベスト8」

- バドミントン部「東京都高等学校新人戦女子シングルベスト16」
- 女子バレーボール部「全日本高等学校バレーボール選手権東京都1次予選ベスト32」
- 吹奏楽部「東京都高等学校アンサンブルコンテスト木管四重奏銀賞」
- ③ 壮行会の実施 全国大会や関東大会の中止に伴い、今年度は数値目標を設定しない
- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、壮行会の実施は控えたが、部活動の成果をホームページや学校便りに掲載し、放送等で表彰することにより、生徒全員で成果やその活躍を称え、喜びを共有した。

(3) 広報活動及び学校評価に関する取組

- ① 入試倍率 推薦 3.0倍以上 ⇒実績 3.11倍 分割前期 1.2倍以上⇒実績 1.19倍  
分割後期 1.1倍以上⇒実績 1.43倍
- ② 中学校訪問数 250校以上 ⇒実績 0校 塾訪問 150ヶ所以上 ⇒実績 46ヶ所
- ③ 学校説明会等 12回以上 ⇒実績 5回
- ④ 体験入部実施回数 12回以上 ⇒実績 0回 参加者数 150名以上 ⇒実績 0名
- ⑤ 学校見学者数 1600人以上 ⇒実績 674人
- ⑥ 授業公開 年 10日以上 ⇒実績 5回
- ⑦ 塾対象説明会の実施 2回以上 ⇒実績 2回

(4) 保護者・地域との連携に関する取組

- ① 地域ボランティア活動への参加 年 10回以上 ⇒実績 4回
- ② 保・小・中・高の連携活動 年 20回以上 ⇒実績 12回
- ③ 保護者との連携活動 年 10回以上 ⇒実績 0回

(5) 生活指導を充実させ、生徒の健全育成を推進する取組

- ① 遅刻指導対象者生徒数 各学期末において全学年合計で生徒数の1割以下  
⇒1学期末 遅刻指導実施せず 2学期末 140/822 3学期末 101/820